

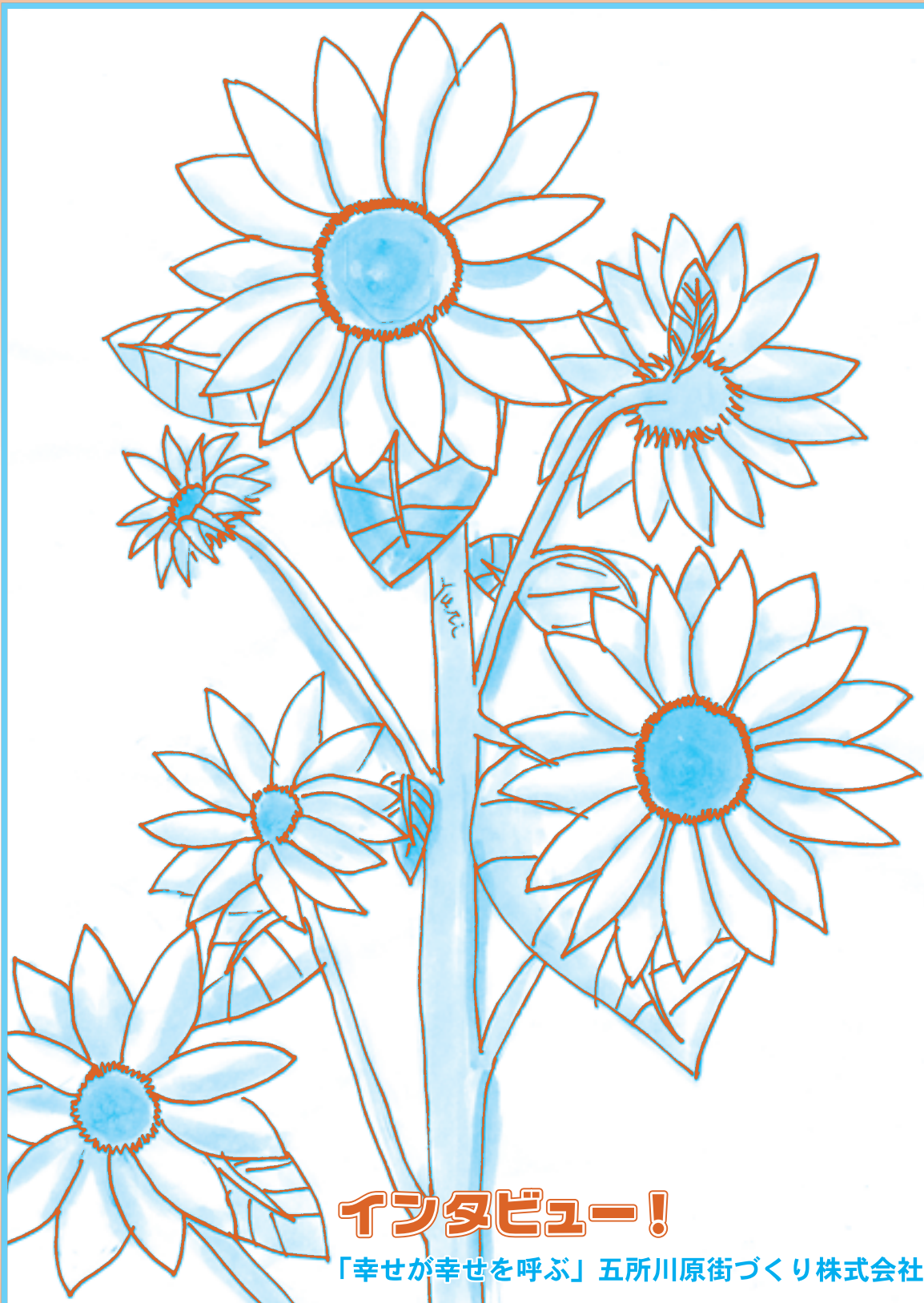


さんかく

女性 (Female) と男性 (Male) が共に支えあい、対等な立場で社会 (Society) を形成することを願って!!

2006年8月15日

第2号



インタビュー!

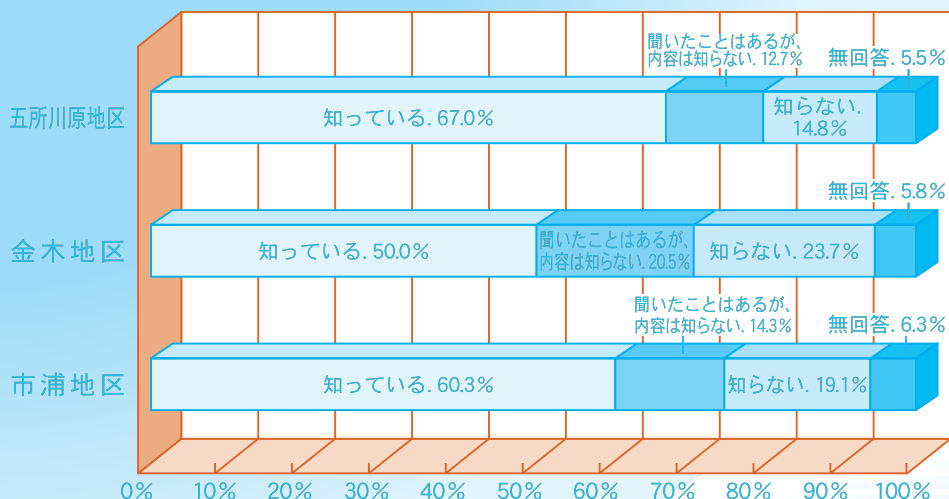
「幸せが幸せを呼ぶ」五所川原街づくり株式会社

特集DVD (ドメスティック・バイオレンス)

あなたがつらいと思ったら、それは暴力です。

五所川原市民は知っている？

Q. あなたは「DV」または「ドメスティック・バイオレンス」という言葉を知っていますか。



(平成18年3月五所川原市民アンケート結果より)

DV根絶のために！

「女性は男性に属するもの・女性は男性より劣った存在」という意識にとらわれず、社会のあらゆる場面で男女が対等なパートナーとして尊重し合い、自立した人間関係を築いていくことが、DVのない社会の実現につながります。



DV「ドメスティック・バイオレンス」とは…

家族、夫婦や恋人、前夫など
親身な関係にある(あった)人からふるわれる暴力のことです。

身体的暴力

殴る・蹴る
タバコの火を押し付ける
髪を引っ張る
首を締めるなど

精神的暴力

大声でどなる・ののしる
無視する
家具や食器を壊す
大切にしている写真を破る

経済的暴力

生活費を渡さない
お金の使い方を細かくチェックする

生活的暴力

意図的に食事を作らない
掃除や洗濯をしない
病氣なのに看病しない

性的暴力

性行為を強要する
避妊に協力しない
ポルノを見ることを強要する

加害者チェック

- この家の主人は自分なのだから、相手は自分の考えに従うべきだと考えている。
- 相手がやるべきことをやらなかったり、生意気なことを言ったりしたときは、ときには力を用いても厳しく対応しなければいけないと考えている。
- 自分が手をあげてしまうのは、相手が怒りを誘発するからだと思っている。
- つい抑えがきかなくなって手を挙げてしまっても、そのあとすぐに誠実に謝り、相手も許してくれているから、そんなにひどいことをしているわけではないと思っている。
- 相手の交友関係が気になって仕方がない。電話に聞き耳をたてたり、手紙を開けて読んでしまうことがある。
- 相手を殴ったり、蹴ったり、殺すと脅したり、自殺すると脅したり、物を投げたり、突き飛ばしたりのいずれかを複数回したことがある。
- 相手が自分の思いどおりにならないと、激しい怒りを覚える。
- 自分が性行為を強要したら相手が応じるのがあたりまえだと思う。
- 自分は酒(または薬物)ぐせが悪くて酔うと殴ったりしてしまうので、酒の量を減らしたいと思っている。

Q1.
暴力を
ふるう人は
特別な人？

A. 加害者には特別なタイプというものではなく、年齢・学歴・職業にかかわらず、あらゆる階層で発生していることが明らかになっています。

また、家庭の外では温和で人当たりがよく、社会的信用がある人であることも珍しくありません。

A. 「言うことをきかない」などの原因があるかのような理由づけは、被害者が加害者の意に従わなければ暴力をふるってもよいという考えを前提にしたものです。どんな理由でも、暴力は絶対に許されません。被害を受けた人は「自分が悪いのでは…？」と悩む必要はありません。

Q2.
暴力を振るわれる人にも問題があるの？

Q3.
子供には影響があるの？

A. 父親から母親への暴力を目撃する子どもは、大きな衝撃やストレスを受けその結果、子どもの心身の発達、成長過程に大きな影を落とします。

また、暴力が子どもへ向けられることも少なくありません。子どもは暴力のない環境で安心して暮らす権利があります。

子どもへも大きな影響を与えます

- ・暴力で支配をする人間関係を学んでしまう
- ・自分が助けられないことに罪悪感を抱く
- ・絶え間ない緊張感から情緒不安や不登校を起こす
- ・他の子どもにも暴力をふるう

あなたは大丈夫？

あなたは日常の生活で自分のパートナーに次のような行動をしていませんか？

それぞれのチェックリストの項目に当てはまるかどうかをチェックし、DVの加害者・被害者になっていないかを確認してみましょう。

※チェックリスト参考引用文献：森田 ゆり/著
『ドメスティック・バイオレンス 愛が暴力に変わる時』(小学館)

相談窓口

◆ 西北地方健康福祉こどもセンター福祉部
(配偶者暴力相談支援センター)
月～金曜日 8:30～16:45まで
電話番号：0173-35-2156

◆ 五所川原市福祉事務所
(家庭福祉課)
月～金曜日 8:30～17:15まで
電話番号：0173-35-2111

◆ **緊急の場合は！**
DVホットライン (24時間)
0120-^{ハナデ}87-^{ミレバイ}3081

診断結果は裏面 ▶▶▶▶▶

被害者チェック

- 相手の機嫌を損ねては大変と思い、相手の要求を受け入れてしまう。
- 相手が怒りを爆発させてどなったり暴力をふるったりする行為に対して、相手に謝ったり、相手のために第三者に謝ったりする。
- 相手の態度に恐怖を感じることもある。
- 相手から頻繁に批判されたり、馬鹿にされたりする。
- 相手から性行為を強要され、いやなのに応じている。
- 相手から殴られたり、蹴られたり、縄でしばられたり、ナイフや拳銃でおどかされたことがある。
- 相手によって家族や友人に会ったり電話で話すことをはばまれている。
- 預貯金や給料へのアクセスを占有されている。
- 根はいい人だから暴力さえふるわなければなんとかやっつけていけると思っている。

おじゃましてす！

五所川原街づくり株式会社 (平成18年6月19日取材 葛西英機 代表取締役社長)

商業のプロとして経営理念を追求しながら、長年、業務に取り組んできたが、この街が幸せになるための街づくりを模索してみて、最も重要な課題は人間を知ることだという。

「今まで男と女と区別して考えたことはなかったが、エルムの街プロジェクトに関わり、人間洞察をするうちに女性の視点を意識するようになった。人間というものの奥深さを学ぶようになり、人が人を呼び、幸せが幸せを呼ぶということに気付いた。」と語る。

同社の回転ドア対策やラーメン街道、カルチャーやユビキタスなどの取り組みは、二ーズに明るく、先駆けともいえる。

従業員も消費者もほとんどが女性であることに着目して、200名のリーダーを中心に職場改善を展開し、共に学び、変化する客の嗜好や時代に対応していける人材育成にも力を入れる方針だ。

顧客だけでなく、従業員にとっても幸せであるよう、男女共同参画の視点を活かした経営を目指している。

従業員777名 (うち男性165名・女性612名) 店長以上管理職99名 (うち男性40名・女性59名)



五所川原街づくり株式会社
代表取締役社長
葛西英機さん



「いなかのしろうさぎ-DVレポート 2005」
新風舎 (いなば あいこ/著)

オススメ関連書籍の紹介

DVは頭だけでなく心で理解して欲しい

小さな世界に長くしばりつけられていると、自分で立つことさえも不可能に思えます。

DV被害者が欲しいのは同情や哀れみではありません。ただその存在を認められたいのです。そんな心の葛藤を誰かに理解されることが大きな力になります。

この本はありきたりな告白本ではなく、自分の力で歩む勇気と希望を与えてくれます。

《「いなかのしろうさぎ-DVレポート2005」の著者 いなば あいこさんより「さんかく」の読者へメッセージを頂戴しました》

私は、被害者の人たちが常識に絡め取られていて、自分を弁護する「言葉」をあまりにも持たないことに心を痛めています。かといって、街中に居る進歩的といわれる人々の言説は、彼女らをエンパワメントするどころか、彼女らが大切にしているもの(愛情、倫理観等)までも踏みじってしまふことがあるのです。ホームページや本には私の試行錯誤を書くことにより、被害者の人たちが、世の中の常識や進歩的な人々の言説にも傷つかず、主体性と本来の力を取り戻し、自分の「言葉」で主張して、それぞれの道を見つけられたいなと思っています。(いなば あいこ)

いなかのしろうさぎ-DVの内側からの発言 <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Renge/2887/>

お知らせ

講師 柿本 勇先生
東京都立中学校教諭、元NHK「こども教育電話相談」レギュラー・アドバイザー、千葉大学、立正大学講師などを歴任。現在、心理開発教育研究所長、NPO法人フューチャー・イン・アクション理事長、日本ソーシャルカウンスラー協会会長。

青森県家庭教育推進協議会主催
日時 ▼平成18年10月22日(日) 13:00~15:00
場所 ▼五所川原市中央公民館大ホール

入場無料

「心にも寄り添ってほしい」といふ

「心にも寄り添ってほしい」といふ

診断結果はこちら

加害者・被害者判定チェックリストに 適応する項目が1つ以上あった人

DVが起きているわけではないかもしれませんが、そうなる可能性があるので、誰か相談する人が必要です。

家族や親戚や友人の中に、わかってくれそうな人がいない場合は、最寄りのDV相談窓口にご相談してください。

編集後記

最近までDVは犯罪となる重大な行為をも含む人権侵害であるにもかかわらず、長い間、家庭内の「夫婦げんか」や「痴話げんか」として見過ごされてきました。

今回はDVに焦点を当て、紙面全体に愛のメッセージをちりはめました。

一人ひとりが誰もが大切な存在として愛と信頼の絆を結ぶことを願ってやみません。



発行
五所川原市 男女共同参画室
五所川原市宇岩木町十二番地
TEL 0173-1351211
編集スタッフ
境谷葉子・佐藤広美
福士千恵子・三由恵子
津島弘美
ウエルカム
随時編集スタッフ募集